

大先輩の志に感謝、学校生活を快適にする機器を寄贈！

山河在り

東陽中学校だより
平成二十九年度第三号

平成29年11月30日
文責 米村

東陽中文化祭・大成功の片隅にビッグファンの姿

十一月十九日平成二十九年年度の東陽中学校文化祭が開催されました。冬の寒さを思わせる気候の中、たくさんのお客様の方々・保護者の皆様に御来校いただきありがとうございます。

学校評議員の方からは、「学習の成果を活かした各学年の劇に感動しました。主役の演技者だけでなく、ナレーターなど裏方に徹した一人一人の頑張りがすばらしかった。」とのご意見をお聞きし、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

東陽中学校の文化祭は今年も感動の嵐が吹き荒れ、大成功であったと感じました。



ステージ発表の最後を飾った全校生徒の合唱では、感動の涙で2曲を歌いきりました。思わずもらい泣きされた来賓の方もいらっしゃったほどでした。

校訓 自主 剛健 奉仕

会場となった体育館は朝の気温が三度。2機の大型ストーブを全開にしても、暖かくなるには非効率적입니다。ここで登場したのは、直径75センチのビッグファンです。遠くに大量の風を送る能力に優れており、天井に向けてファンを運転し、暖まった空気を体育館内で巡回させます。かまぼこ型の屋根の形状もあつてか、思いの外、体育館内と外の気温差に違いが感じられるほどでした。

一点だけ難点をあげると音が大きいことでしょうか。当然、文化祭の間にはファンは回せません。休憩の間に活躍してもらいました。

この他にも学校生活を快適にする機器をたくさんいただきました。ここに紹介しておきます。

東陽中学校2期生 押方信博 様より、東陽中学校生徒のためにご寄贈いただいた品々

- ・タープテント2張り
- ・サンシェード1張り
- ・バレーボール9人制用ネット
- ・バレーボールカゴ
- ・送風機2機 (ビッグファン75センチ) (ビッグファン60センチ)
- ・学習書籍多数



意見発表の声」：聴く相手の立場まで考慮し、大きな届く声ではっきりと

東陽中学校の二期生は、各先生方が授業を公開する機会に恵まれました。特に十月二十六日には、熊本県情報教育研究大会八代大会が開催されました。東陽中学校の全校生徒が県下各地より参観に来られた先生方の前で、情報モラルをテーマに、学びの様子を公開。落ち着いた授業態度に数多くの評価をいただきました。

十一月九日には、八代市教育委員会による学校訪問が実施され、東陽中学校の先生が各教科の授業を公開されました。この学校訪問によって一番に挙げられた東陽中学校の課題が『授業中の発表の声が小さい』というものでした。

確かに、授業の一単位である学級の規模が小さい東陽中学校では、大きな声で話さなくても相手に聞こえているかもしれません。しかし、普段の授業と違い知らない方の前で発表する意見、大勢の方が注目している中で発表する際に「緊張しない」という人はまずいでしょう。知らないうちに声小さくなると相手に届いていない状況になつていないでしょうか。意識を持って「聴く」相手にとつては一番に気になるところでしょう。

また声が大きいくだけで、内容のともなわれない意見となつていないかも重要な要素です。毎日の授業は続きます。今すぐに一人一人の意識改革で授業中の発表の声を適正化していきましよう。最も相手に伝わる大きさ、とは単にボリュームだけの問題ではなさそうです。

生徒集会での「東陽中人権宣言」唱和の様子。自ら意識して内容の意味まで理解している人は自然と大きな声で発表しているのではないだろうか。放送委員会提案の「はっきり発声法」も参考に実践し、自分のものにしよう。



裏面もご覧ください



<http://jh.higo.ed.jp/toyojhs/>

今年の伝統文化学習体験は肥後高田焼に挑戦！

十二月一日、東陽中学校では熊本県が力を入れてしている伝統文化の一つである、肥後高田焼（八代焼）の陶芸教室を実施します。昨年度は、東陽に伝わる「河俣塗り」を学習し成果を上げることができました。今年は氷川町今に「伝七窯」を興されている青木修様の後継者である青木克裕先生を東陽中学校にお迎えし、肥後高田焼の歴史と、伝統を受け継ぐことの大切さ・難しさを講話していただきます。

講話の後、東陽中学校生徒全員で作品作りに挑戦します。今回は高田焼の特徴である象嵌を作品に施すという高度な技にまで挑戦する予定です。下に紹介した窯元の意志をしっかり受け止めて、高田焼の歴史や伝統文化に少しでも近づけるよう真剣に取り組みみましょう。成功か失敗かは作者本人でしか決められないもの。世界に一つしかない自分の作品を完成させましょう。

高田焼

土と炎

土と取組んで五十数年
土の冷たさが五体に染み渡る時
私の焼き物に対する情熱が何であるか
ふと考え込む

もともと不定形で柔らかく暖かい土
しかし土は生き物：
焼き物のかたちとは：色とは：
考えつめて行く程に

土の素顔が私を捕まえて離さない
手さぐりしながら確かな手ごたえが
欲しいと思う
しかし冷たく迫る土はどのような妥
協も許さない

だから私は土が好きだ
土が私に物言うその時から
土との厳しい闘いが始まる
冷たい土との闘いを
私は一生続けなければならぬ
肥後高田焼 伝七窯 青木修

視聴できる「メディア」の種類・内容の変化に要注意

本年度、情報モラル教育に取り組んでいることは前述の記事でも紹介したところですが、東陽中学校では、校区地域学校保健委員会を平成二十年度より立ち上げ校区内の保育園、小学校と一緒に健康教育の増進に努めてきました。

委員会開催前からの取組の一つに、ケーブルテレビ配信開始と合わせて、「メディアが及ぼす心の健康について」の実態調査等を進めており、十一年以上が経過した今、新たな視点で「メディア視聴」の問題を考える必要が出てきていると考えます。例えば以前の「メディア」といえばまさに「テレビ」が

王座を維持してきました。地上波全盛期のころ、翌日の教室では子どもたちの話題はテレビ番組に集中。出演者のモノマネが流行り、上手にできる子どもがクラスの人気者でした。
今、若者のテレビ離れが盛んに言われるようになりました。茶の間を離れ一人部屋にこもりスマホに熱中する学生。ユーチューバーが小学生憧れの職業となる時代です。

みんなで守ろう！メディア使用時の3カ条～

- 第一条 ズディアの使用は夜10時までにしよう！
（健康のためにも3時間以内にしよう！！）
- 第二条 思いやりの心をもって使用し、相手の時間も考えよう！
- 第三条 困ったり、迷ったりしたときは自分一人で判断せずに大人に相談しよう！



八代市立東陽中学校 生徒会

東陽中学校ホームページ好評閲覧中!!



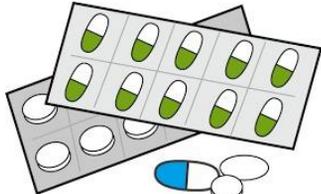
10万件更新まであとわずか!?

<http://jh.higo.ed.jp/toyojhs/>

東陽中学校のホームページでは学校行事の様子や毎日の給食献立をアップしています。引き続きご利用いただいていることに感謝申し上げます。トップ画面の左端にくまモンが手を挙げています。その下に表示されている「カウンタ」がそろそろ大台を突破しようとしています。十一月末で9万5千件を突破しています。多い日に一日のべ百人の方が見ることもありますが、十万件の閲覧者数まで先が見えてきました。
今後素早い情報発信はホームページを活用します。閲覧よろしくお願いたします。

予防の大切さを実感！ 今年の風邪には困惑しています

私事ですが、東陽町文化の祭典が無事に終了。振替休日となった月曜日、4年ぶりに内科を受診しました。熱は平熱でしたが、喉の痛み、鼻づまり、咳がとまらないという風邪の諸症状に耐えかねてのことです。以前担任した生徒の保護者でもある医師の先生はいつも通り優しく診察して素早い処方してくれました。こちらから希望して即効性の高い点滴をお願いしました。20分ほどベットに横たわり薬剤が体に染み込むような感覚に陥りました。四種類もの錠剤が処方され、五日間分、正しく服用してきました。
これまでの経験だと、そろそろ風邪の症状が消えるはずなのですが今回は違います。薬は確実に効いており飲用後の症状は楽になります。何が原因か考えました。年齢を重ね基礎体力が落ちていると結論付けたところです。



最後までご覧頂きありがとうございました。